

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 安全リレー ★



三重県における安全・適正就業の取組み

1 三重県シルバー人材センター連合の概要（平成30年度実績）

(1) センター数	27 団体（国庫補助 18 団体、国庫補助対象外 9 団体）
(2) 会員数	11,364 人（男性 7,509 人、女性 3,855 人）
(3) 粗入会率	1.81%
(4) 就業実人員	8,820 人
(5) 就業率	86.7%（請負・委任 77.6%、派遣 85.6%）
(6) 就業延人員	1,212,650 人日（請負・委任 1,003,927 人日、派遣 208,723 人日）
(7) 受注件数	58,076 件（請負・委任 57,247 件、派遣 829 件）
(8) 契約金額	6,038,278 千円（請負・委任 4,883,000 千円、派遣 1,155,278 千円）

2 三重県の過去5年間の事故発生状況

三重県内のシルバー人材センター事業実績及び事故発生状況は、下表のとおりとなっています。

年度	会員数(人)			就業延人員(人日)	傷害事故(件)					損害賠償事故(件)
					うち重篤事故(件)					
	男性	女性	合計		就業中	途上	合計	就業中	途上	
26	7,302	3,896	11,198	1,186,016	71	19	90	2	1	82
27	7,402	3,874	11,276	1,189,351	81	10	91	0	0	87
28	7,505	3,891	11,396	1,204,827	69	12	81	1	0	98
29	7,432	3,878	11,310	1,205,560	99	20	119	2	0	78
30	7,509	3,855	11,364	1,212,650	49	9	58	3	3	96

会員の安全はシルバーでの最重要課題として事故ゼロを目指し、センターと連合会で事故情報など有用な情報を共有しています。上の表の平成28年度では事故発生が前年に比べ減少しましたが、平成29年度では前年の1.5倍ほどに跳ね上がりました。この年度は派遣就業が大きく伸びた事もあり、事故の発生が増加したものと考えます。この厳しい状況に対処するため、安全就業の徹底を掲げ、センター訪問時や各種会議の場で安全啓発を行い、また安全就業推進大会や安全パトロールの場で、現状の説明や実際の点検を行い、30年度には前年度の1/2程度まで改善しました。しかしながら、交通安全の面での取り組みは弱かったためか、30年度は重篤事故6件のうち就業途上の事故が3件と、交通事故の件数が増加しています。

3 三重県連合会における安全・適正就業の取り組み

当連合会では各センター会員の安全適正就業等に関する取り組みを次のとおり実施しています。

- (1) 安全・適正就業対策推進委員会の開催
- (2) 安全・適正就業推進強化月間の設定
- (3) 安全就業推進大会の開催
- (4) 安全パトロールの実施
- (5) 安全・適正就業に係る会員研修会への講師派遣
- (6) 発生した事故状況の把握と情報の共有、安全に関する情報の提供
- (7) 適正就業ガイドラインに沿った業務への取り組み支援

○安全・適正就業対策推進委員会の開催

ア 当委員会の構成	連合会理事	2名
	センター事務局長	5名
	連合会職員	1名
イ 開催頻度	年間2回定期的に実施しています。	

○安全就業推進大会の開催

毎年7月を安全就業強化月間として、センターの安全・適正就業関係者に対し、センターが実施している事故削減等の取り組みを発表し、共有できるものは実践しています。また、安全就業をテーマとした外部講師による講演や、直近年度における事故発生状況や特に注意しなければならないポイントなどで、県下センターにおける事故の削減を目指しています。

平成30年度の実績については、

- ・参加センター数 19センター
- ・参加者数 71名（安全・適正就業担当理事、安全就業推進員等）
- ・事例報告 「安全就業の徹底による事故削減について」
県内センター 事務局長
- ・講演 「就業現場でのヒヤリハットを防ぐために」
外部講師 保健師



○安全パトロールの実施

当連合会では定期的にセンターの会員が就業する現場を他センターの安全委員等の参加を求めて点検し、改善を要するポイントを参加者で共有してそれぞれ拠点へ持ち帰り、安全に資する取り組みは極力反映させることとしています。

パトロール実施には各センターの協力を得て、屋外作業と屋内作業の現場を各1か所ずつ選定のうえ実施しています。県連合会の安全・適正就業対策推進委員会の委員と隣センターから理事長、理事、安全委員職員等が参加し、就業中の会員が安全な作業が出来るような服装であるか、作業現場には危険な箇所が無いかどうか、会員同士の安全に関するコミュニケーションが取れているか等をパトロール参加者が点検し、問題がある場合はその場で会員に指導するなど、作業現場の問題把握を行っています。

現場の点検を終えてから当該センターに戻り、契約書面の点検や適正就業の状況を該当センターから求め、参加者全員でディスカッションを行います。結果は参加者が持ち帰り、自センターの安全委員会等にフィードバックし、参考となる取り組みは導入するといったような取り組みです。



数年来の安全パトロールの実施で、

- ・安全な着衣・装具の着用
- ・脚立・梯子使用時の安全確認
- ・草刈り作業時の飛び石抑制
- ・夏季作業時の熱中症の予防・対応の知識向上
- ・蜂による被害の防止、応急処置への対応力向上
- ・救急箱の携行
- ・草刈り機用混合ガソリン携行缶のプラスチック缶から金属缶への転換
- ・シルバーが作業中である旨の看板使用やベスト着用が定着等が見られます。

植木の剪定作業での事故発生が散見されるため、特に安全装具の着用の徹底と、脚立や作業用足場について、使用時の確認を行うこととしています。また、剪定作業中は「作業中」の看板を出して、歩行者への注意喚起を行っています。



高齢ゆえの転倒・落下事故の防止が最重要ですから、安全は自己責任であることの意識付けを行っています。

○安全・適正就業に係る会員研修会への講師派遣

主にシルバーで新たに働き始めた会員向けに、センターでは研修会を行っていますが、安全面での知識だけではなく、シルバー事業の展開に関する歴史や会員に求められている技能、シルバー会員としての義務などの説明を行っています。新規会員に対して DVD の視聴を含め 90 分程度の研修を希望するセンターで毎年度 4~5 件実施しています。

○事故状況の把握と共有について

センターで発生した事故については重篤事故以外にも報告を求め、発生の背景から原因を把握・検討して必要に応じて情報共有を図っています。

4 今後の目標

シルバー人材センターで働く会員の安全就業が最重要なため、拠点の担当者だけでなく、全ての会員が安全安心に就業出来るよう、個人の意識啓発を取り組み、「事故ゼロ」を目指します。

三重県シルバー人材センター連合様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

★ 令和元年度 春季全国火災予防運動について ★

厳しい寒さが続いておりますが、その様な中でも暖かい日もあり、春は確実に近づいてきています。しかし、春先は空気が乾燥し火災が発生しやすい季節です。

消防庁では、「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」を令和元年度全国統一防火標語とし、令和2年3月1日から7日までの7日間にわたり、「春季全国火災予防運動」を実施します。それに併せて今回は、火災予防について取り上げてみました。

平成30年度中の住宅火災による死者数は1,028人であり、全ての火災による死亡者数1,427人の約7割をしめています。火災による被害を減らすためには、一人ひとりが普段の生活の中で、防火に対する意識を高め、火災予防の対策を行うことが重要です。「住宅防火いのちを守る7つのポイント」を参考に身の回りの火災予防について確認しましょう。

『住宅防火 いのちを守る 7つのポイント』～ 3つの習慣・4つの対策～

【3つの習慣】

- ①寝たばこは、絶対やめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



火災事故は、就業中・就業途上の事故同様、「不注意」が原因となっているように思われます。大切な人命、身体、財産を守るため、日頃から注意を怠らず防火に努めていただきたいと思います。

(出所 消防庁ホームページより)

令和2年1月（令和元年度）事故速報

（1）重篤事故

1月は、1件の重篤事故報告がありました。

1月までの累計で比較してみると、平成30年度の32件と比して令和元年度は26件と6件減少しています。

なお、過去10年間に於いて重篤事故件数が一番少なかった平成28年度（年間28件）の1月報告分の24件と比較して2件の増加となってしまいました。今年度の重篤事故件数が過去10年間の最少件数を更新できるよう、安全対策に取り組みましょう。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成30年度の22件と比して13件と9件の減少となっており、また就業途上においては、平成30年度の10件と比して13件と3件の増加となっています。

1月報告分までの累計

令和2年1月累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成30年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	13 (1)	9 (1)	4 (0)	12 (1)	1 (0)	就業中	22	17	5	20	2	
就業途上	13 (0)	6 (0)	7 (0)	11 (0)	2 (0)	就業途上	10	8	2	8	2	
計	26 (1)	15 (1)	11 (0)	23 (1)	3 (0)	計	32	25	7	28	4	

↳ 対前年度比 81.3% ()は、当月（1月）報告分です。

1月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
26	男 67 歳	就業中 (死亡)	7月26日に市の環境工場敷地内の調整池用地の除草作業を行っていたが、昼からの交代予定の会員が引き継ぎのため会員を探していたところ、調整池用地のスロープ所で仰向けになって倒れているのを発見し、呼吸をしていなかったため救急車を呼んだが、既に死後硬直が始まっており、救急隊は病院に搬送せず警察署に移管した。 検死の結果「熱中症」と判断された。	○	×	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

1月は、就業中の事故17件、就業途上の事故6件と、合計23件であり、昨年度同月の41件と比して18件の減少となっています。また、男女別では、男性は17件の減少となっており、女性は1件の減少となっています。

1月までの累計で比較してみると、昨年度の257件と比して、本年度は227件と30件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は11件の減少となっており、就業途上も19件の減少となっています。男女別では、男性は16件の減少となっており、女性も14件の減少となっています。

1月報告分までの累計

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		1月	累計	1月	累計	1月	累計	1月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	6(16)	68(72)	6(16)	67(71)	0(0)	1(1)	76	74
	除草作業	6(5)	31(37)	5(4)	23(29)	1(1)	8(8)	73	75
	屋内・屋外清掃作業	1(3)	31(25)	0(1)	14(11)	1(2)	17(14)	78	75
	その他	4(10)	40(47)	1(7)	25(31)	3(3)	15(16)	77	76
	計	17(34)	170(181)	12(28)	129(142)	5(6)	41(39)	75	75
就業途上	徒歩	2(3)	16(22)	0(0)	4(5)	2(3)	12(17)	69	77
	自転車	2(3)	27(33)	1(2)	14(13)	1(1)	13(20)	76	76
	バイク	1(1)	10(14)	0(0)	2(4)	1(1)	8(10)	71	73
	自動車	1(0)	4(7)	0(0)	2(3)	1(0)	2(4)	76	76
	計	6(7)	57(76)	1(2)	22(25)	5(5)	35(51)	73	76
合計		23(41)	227(257)	13(30)	151(167)	10(11)	76(90)	75	75

()は平成30年度同月、累計では同月までの発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。

(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

11月は、仕事の型別では「ビル建物清掃員」、「選別作業員」が2件、「福祉施設指導専門員」、「その他の家庭生活支援の職業」、「水産物加工工」、「乗用自動車運転手」、「採鉱員」、「倉庫作業員」、「道路・公園清掃員」がそれぞれ1件あり、合計11件となっています。男女別の内訳は男性が5件、女性が6件となっています。

11月までの累計は77件となり、男女別の内訳は、男性が46件、女性が31件となっています。なお、死亡事故はありませんでした。

令和元年度11月分

仕事の型（小分類）	小分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
		11月	累計	11月	累計	11月	累計	11月	累計
測量技術士	93	0	2	0	2	0	0	93	93
福祉施設指導専門員	162	1	1	0	0	1	1	69	69
受付・案内事務員	254	0	1	0	1	0	0	71	71
小売店販売員	323	0	2	0	0	0	2	-	74
その他の家庭生活支援の職業	359	1	2	0	1	1	1	69	73
調理人	391	0	5	0	0	0	5	-	71
飲食物給仕係	403	0	4	0	0	0	4	-	74
その他の居住施設・ビル等の 管理の職業	419	0	2	0	2	0	0	-	73
他に分類されないサービスの 職業	429	0	3	0	0	0	3	-	66
養畜作業員	462	0	1	0	1	0	0	-	72
自動車組立設備制御・監視員	513	0	1	0	1	0	0	-	65
水産物加工工	552	1	1	0	0	1	1	71	71
弁当・惣菜類製造工	554	0	1	0	1	0	0	-	67
木製品製材工	561	0	1	0	1	0	0	-	72
一般機械器具修理工	601	0	1	0	1	0	0	-	75
バス運転手	661	0	2	0	2	0	0	-	65
乗用自動車運転手	662	1	1	1	1	0	0	66	66
内装工	717	0	1	0	1	0	0	-	78
採鉱員	741	1	1	0	0	1	1	70	70
倉庫作業員	754	1	1	1	1	0	0	76	76
配達員	755	0	4	0	4	0	0	-	73
荷造作業員	756	0	1	0	1	0	0	-	67
ビル・建物清掃員	761	2	4	0	0	2	4	67	70
道路・公園清掃員	763	1	1	1	1	0	0	74	74
ごみ収集・し尿汲取作業員	764	0	1	0	1	0	0	-	70
産業廃棄物収集作業員	765	0	2	0	2	0	0	-	74
その他の清掃の職業	769	0	5	0	4	0	1	-	72
製品包装作業員	771	0	2	0	1	0	1	-	72
選別作業員	781	2	9	2	6	0	3	72	71
軽作業員	782	0	9	0	5	0	4	-	70
他に分類されない運搬・清 掃・包装等の職業	789	0	5	0	5	0	0	-	70
計	-	11	77	5	46	6	31	70	71

「シルバー派遣事業における労働者死傷病報告等に基づく労働災害報告」については、
 (1)「派遣・業務災害報告」については、各月翌月最終稼働日までに、(2)「派遣・通勤災害
 報告」については、令和2年3月31日までの期間での発生分を令和2年4月30日までに必
 ず提出願います。(平成31年4月22日付 事務局長通達により通知済)

立春を過ぎ、今年は異常なまでの暖かさと春は名のみ寒さが繰り返しています。南極では史上初の 20℃ 超え、豪州は山火事から一転の豪雨。世界中で異常な現象が起きています。それに加え、連日報道されている新型コロナウイルス感染症。現在有効性が証明させた治療法はありません。感染対策上重要なのは、手洗い、マスクなど標準予防策の徹底。今年はインフルエンザがあまり流行していないのは、新型コロナウイルスにより、いつも以上に皆さんが気をつけておられるせいかもしれません。この先 1 ヶ月予報によれば、気温は高め、桜が咲くのも早いとか。何だか冬らしい冬がないまま春を迎えそうですが、油断は禁物。インフルエンザ、新型コロナウイルスなど十分に注意し、元気にお過ごしいただければと思います。年度末まであと 1 ヶ月余り、健康に留意され、気を引き締めて、安全就業に努めてください。(松山)

今月は「火災の予防」について特集しました。火災の出火原因については、「たばこ」の不適な場所への放置、ストーブの消し忘れなどが多いようです。また、失火の多くは、火気の取り扱いの「不注意」、「不始末」などにより発生しています。春先は特に空気が乾燥することもあり、火災が発生しやすい時季なので、十分注意が必要です。火災は多くを一度に失くし、人生が一変する可能性が高い恐ろしいものです。日頃から自分ができる予防を実践し、特に不注意が原因とならないように十分注意していただきたいと思います。(笹野)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 200 円 A4 判
(税抜・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行の B5 版 / 16 頁から A4 版 / 20 頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成 27 年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】